

佳作 大事な人



アルタンゲレル ウヤンガ
ALTANGEREL UYANGA
国 籍 モンゴル
職 種 機械検査
実習実施者 藤田螺子工業株式会社
監理団体 九州ネット協同組合

私の名前はウヤンガです。二十二さいです。

私の両親は子供がすごく欲しかったのですが六年間で
きませんでした。

そのあと私が生まれたので家族は幸せになりました。

私はたくさんの愛情を受けて育ちました。

そして弟が生まれてもっと幸せになりました。

しかし、その時からお父さんは悪い人となかよくなっ
て毎日お酒を飲んで、お母さんをなぐるようになりました。

私はそれから世界で一番幸せな子と思ったことがまち
がいだと思うようになりました。

この酷い状況をお母さんは、七年ぐらい我慢してその
あと離婚しました。

そして私はお母さんと弟とウランバートルへ行って住
むことになりました。

その時に思ったことは怖いお父さんから離れたことは
よかったです。一番愛していたお父さんが目の前で
酷い人になったことはとても寂しかったです。

子供の時はとても甘えて住んでいましたが、ウラン

バートルに来てから辛かったです。

お母さんは仕事をしていましたから、私は弟の面倒を
見ながら、勉強や家のそうじや、ご飯を作るとかいろい
ろやってきました。

そのため、私には同世代の子のように遊ぶ時間があり
ませんでした。まわりの人は私に対し、どれくらい大変
かを分からないのにいつも「もっと頑張ってください。」
と言っていました。

私は、人に比べてこういった人生が悲しかったです。

でもそこにはお母さんの見えない努力があると感じ
ました。

お母さんが二人のおさない子供を育てるためにどれほ
どいっしょうけんめい働いていたか、そしてお母さん
にとってどれほど大変であったか、私は想像もしてませ
んでした。

お母さんは私が知っている中で、

最もがまん強い女性です。

お母さんは私のために大変な困難を克服して育ててく
れました。

こんなに立派な女性に愛されているから私は何が起
こってもあきらめません。

いつも幸せに生活してお母さんの心をいやして何が
あってもやる気まんまん頑張っていきたいです。

だれにも私のお母さんのような大事な人がいると思
います。だから皆さんいつも心強く生きていけるのだら
う。

そんなことに気づいた私は、お母さんをもっと助けよ
うと思い、人生を変えるために日本に来ました。